

# 「品質」「技術」「思いやり」を モットーに

材料を活かし、知識・経験を活かしたモノづくり

有賀ゴム(港区浜松町、小川貢社長、03・3436・0881)は、工業ゴム製品の設計・企画・販売を主業としており、現在では独自の営業展開を行い、ゴム製品だけでなく、プラスチックや金属の複合製品も手掛け、研究用や展示会用、実験用モデル、美容関係グッズ等、社名とは異なる製品も手掛けている。お客様から相談を受けると、好奇心が先にわき、何でも「NO」とは言えない小川社長による、これまでの知識、経験を活かしたモノづくりを心掛けており、何よりお客様の声、材料の声を聞いて「力のある製品」をつくることを第一に考えている。

また、同社では、モノづくりの基本である設計を手書きで行っている。これは、部品一つ一つを活かすため、隅々まで気を配る意味があ



「品質」「技術」「思いやり」が大切と小川社長

る。手で書いたものは頭に残り、次の製品に活かせる利点もある。協力会社との連携も密で、一つの製品をつくる中で、設計段階で各社の特徴を織り込み、品質や機能にこだわった製品の提供を可能にしている。「設備には大小があるが、知識や技術にはない」と

小川社長。



同社で製造している「力のある製品」

日頃、小川社長が社員に話していることは、「品質」「技術」「思いやり」の三点。「製品」を必要とするお客様がいて、「製品」をつくる会社があり、「製品」をつくる為に知恵を出してくれる人がいる。思いやりを持って接することが、良質な製品づくりにつながる。そして、「当社の営業マンもまた、何ものにも負けない『力のある製品』である」と小川社長は語る。